

2012 年 10 月 16 日(火)

ちよだプラットフォームスクウェア

506 会議室

- ◆委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟(議長) 金子純代 事務：熊谷一樹 書記：中山遼平
- ◆出席者：古川龍文 小山匠 山田寛 児玉萬平 田代和史
- ◆開会 19:09

◆委員会の運営について

- ・ 年内は毎月開催し、来年 1 月には年度計画を理事会宛て提出する。
- ・ 広く委員会メンバー登録を行い、キールボート強化活動に参加してもらう。
- ・ JSAF 外洋サイトにあるオンブリーズを有効利用できないか。議事録の公開やフォーラムスペースの利用など。(児玉)

◆NYYC インビテーションナルカップ (中澤)

- ・ 当委員会として出場チームの公募・予選を主導し、JSAF 代表チームとして派遣する。
- ・ J-Sailing10月号で告知する。国内エントリー締切は 12 月 21 日頃を予定している。
- ・ エントリーフォームの作成を当委員会で行う。
- ・ 複数のエントリーチームで予選が行われる場合は来年 2 月が候補。エントリーフィーを検討中。
- ・ エントリー条件に若手(高校生や大学生)セーラーがクルーにいることを加える。フォーマルレースの経験を積んでもらう。
- ・ 対応を中澤委員長に一任する。

◆パシフィックキールボートチャレンジ 2013

- ・ 2013 年 3 月 21-24 日にオーストラリア・オークランドで開催される。
- ・ 費用はチャーターフィー及びエントリーフィーで各チーム 2550NZD がかかる。
- ・ 各国からヨットクラブごとの参加チームがあり、JSAF 代表チームの派遣を検討する。全 10 チームで既に 3 クラブがエントリー済み。
- ・ ポジション毎(スキッパー枠/クルー枠?)に参加者を募集し、代表チームを構成できないか。所属チームに遠征経験を還元する。
- ・ できるだけ早く公示を行う。同時に JSAF 代表チーム派遣に関して現地と連絡をとる。(中山)

◆相模湾キールボートシリーズ

- ・ 今年シリーズの報告書及び決算を作成し、スポンサー等に報告する。
- ・ 来年以降の運営方法について議論する必要がある。
- ・ 表彰式を年末のフィーリンオーシャンパーティー（12月3日@恵比寿）で行う。

◆学生マッチ 2013（田代）

- ・ 来年の学生マッチは12チームによる3日間開催を検討中。候補日は3月15, 16, 17日。
- ・ インカレ上位校のほかに、前年上位チームやアニオールカップ優勝校、ホームポート校、JYMA会長推薦チームなどを招待する予定。
- ・ 四大学戦の時に各大学に学生マッチについてお知らせした。
- ・ 費用は検討中だが、スポンサーを募集する予定。参加チーム数によりエントリーフィーが変動する可能性がある。
- ・ JYMAとJSAFの役割分担を再度議論する。

◆キールボートパーク構想（中澤）

- ・ リビエラとの交渉はイニシャルコストをJSAFがサポートしない限り困難との回答を得た。
- ・ 新西宮ヨットハーバーが引き続きY23の売却先を探している。

◆メルゲス 32 ワールドの報告（山田）

- ・ 日本から6艇が参加した。これは開催国アメリカに次ぐ参加数であった。
- ・ 特定の艇種ではなく「ヨットがうまい」選手が世界中から集まっている。普段からシビアなレースでもまれている。日本でも同様のセーリング環境を作ることが大事ではないか。

◆その他

- ・ 当委員会で斡旋したAsia Pacific Student Cup 2012 Match Race及び中日韓親善キールボートレガッタの遠征レポートがJ-Sailing10月号に掲載される予定。
- ・ 中日韓親善キールボートレガッタの報告書を理事会宛て提出した。
- ・ 次回の外洋合同委員会会議が2013年2月2日～3日に沖縄県宜野湾市で開催予定。参加希望者は連絡を下さい。

◆閉会 21:00

- ◆次回委員会の開催日：11月15日（木） ちよだプラットフォームスクウェア 504会議室